

# 冒険王

## 雌阿寒岳のぼり隊

冒険王だよりは、冒険王での子ども達の活躍をご家庭にお伝えします。ご家庭で、どんなことが楽しかったか、苦労したかななどについて、お子さんとお話してみてください。

今年度第4回目の冒険王「雌阿寒岳のぼり隊」が9月10日（土）に雌阿寒岳で行われました！当日は雨も心配されましたが、何とか天気ももち、参加者31名が元気に参加してくれました。

### ☆登山記録：4～6年生高学年編

高学年は頂上を目指し出発しました。今年は初めて頂上にチャレンジする子が多く、少し不安な様子でしたが、紐をしっかりと結び直し、低学年より少し早めに出発しました。少し気温が高い中、3合目まではスムーズに足取りを進めました。しかし、楽しい雰囲気から一変、4合目から足が重くなってくる子どもチラホラ・・・何とかかとか、休憩を挟みながら6合目まで登りきりました。

6合目では、森の中を抜け開けた景色へと変わります。天気も良くオンネトーが凄くキレイに見えました。気持ちの良い風に当たりながら少し長めの休憩を挟み、頂上へと足を進めます。雌阿寒岳はここからが厳しい戦いとなります。

7合目を過ぎたあたりには斜面が急になり、砂利に足を取られ、「もう無理！」と辛そうな声も増えてきました。山の厳しさを知らされます。両手を膝につく子どもも出



てきました…何度も何度も辛くてあきらめそうになりながら、必死に励まし合い1歩1歩進んでいきます。辛そうな子どもを前に、この時点で正直大人の心が折れそうに（笑）無理しなくていい

よ！と言っても子ども達は「なんかそう言われると余計やる気出てきた！」といきなり元気なスイッチON！子どものパワーはすごいですね。そうこうしているうちに、ついに山頂到着！雲がかかっていたため、あたりに広がる雄大な自然を目の当たりにし、子供たちから「きれい！」「登ってよかった！」といった感動の聲が上がりました。登り切った達成感に浸り、集合写真を撮ったあと下山をしました。登山は下りの方が厳しいです。小さな砂利が多く非常に滑る！子どもも大人もしりもちをつきながら下山することになりました。足の痛みと疲れでくじけてしまいそうな子どももいましたが、「下りのほうが楽だよ！」と根拠のない励ましをしながら、登りより少しハイペースで降りてきました。時間がかかってしまいましたが、お友達やリーダーの励ましがありながら、下山することができました。帰りのバスでの子どもたちはぐったりしていましたが、きっと思い出に残る一日になったでしょう。

### ☆登山記録：2～3年生低学年編

低学年班は6合目を目標に登山を行いました。ほとんどの子が初めての登山だったようで、「イメージしていた道と違った～」と言っている子がいました。1合目は緩やかな道だったけれど、登っていくにつれてロープやはしごを使う所や、すぐ隣には崖という所もあり、一歩ずつ気を付けながら歩きました。休憩を取りながら約3時間歩き、ついに6合目到着！と思いきや、少し登ればオンネトーが見えるとのことで、お腹がすき始めている子どもたちに頑張ってもらい、オンネトーをバックに写真を撮ることができました。来年になると、3年生は頂上を目指し、2年生は今回の経験を生かして一緒に登る1年生を引っ張ってもらいます！



### ☆登山記録：1年生編

1年生は展望台コースを登り、オンネトー湖畔遊歩道コースを散策しました。晴れていましたが風が強く少し肌寒い感じがしました。人数は5名と少数精鋭ながら、倒木がある時などは声を掛け合って休憩をはさみながら登りました。途中、弱音を吐く参加者もいましたが脱落者も出ず、全員で頂上にたどり着きました。山頂からは雌阿寒岳、阿寒富士、オンネトーがとてもきれいに見えました！ここで、お菓子を食べた後、みんなでレクをしました。人に似た木を探すゲームと誰が一番「ヤッホー」と叫んで大きいこだまが返ってくるかというゲームをしました。特にヤッホーと叫ぶゲームが盛り上がり、何回も叫んでいる姿が印象的でした。最後に雌阿寒岳をバックに写真を撮り下山しました。ふもとまで下りてお昼休憩をした後、オンネトーをバックに写真を撮り、



周りを歩きました。橋が壊れていたり足元が悪く、大人に補助してもらいながら進みました。ゴールが見えてもなかなかたどりつかず、あきらめていた参加者もいましたが、最後の力を振り絞って無事全員ゴールしました。来年はぜひ雌阿寒岳に挑戦しよう！